

## だいすきトコナメ・アート展 ～トイレはみんなの舞台（ステージ）だ！～

### 制作を終えて

この展示は今年の4月に行われた「常滑クラフトフェスタ」からご縁をいただき実現しました。展示にあたりご尽力いただいたクラフトフェスタ、INAX ライブミュージアムをはじめ、関係者の皆様、常滑という土地に心より感謝申し上げます。

#### プロジェクトのスタートは夏。

ものづくり工房での「土」「水」「火」をテーマにした3台のトイレ絵付け制作からはじまりました。食べて、消化して、出すという、生きる上で欠かすことのできない大切な行為。

それを支えている便器に絵を描かせていただいたことは、あらためて表現について問い直すきっかけになりました。



製品として出来上がった便器はまさに、完成された頑固者。

「INAXのトイレに使われている釉薬の白は世界一だと思っている！」と工房スタッフでトイレの生産に携わっていた方が胸をはっておっしゃっていました。なるほど。頑丈で汚れが付きにくい＝ペイントしにくい。なるほど体感しました。

「土は、水を得て形となり、火を通してやきものになる。」INAX ライブミュージアムのマークに込められたメッセージ。私たちが便器とせめぎ合いながら絵を描くことは、その逆

を辿り、土・水・火の自然に解きほぐしていく。そんな作業でもあったと振り返ります。

#### 10月5日～8日。

焼きあがった便器の設営と壁面・床面のペイントに入りました。

ここまでは2人で作品を描いてきましたが、ここからは、INAX ライブミュージアムスタッフの皆様、ご来場いただいた皆様ともセッションを楽しもう！と画面に筆を入れていただきました。



ちょっと遠慮がちに。大胆に。絵の流れを読んで。あるいは無邪気に。

心のおもむくまま。排出された色や形。個人個人の物語をつなぎながら、化学反応を起こし、大きな絵という自然の中に取り込み、還していく。そうして出来上がったダイナミックな世界。

約 50 名のみなさんと絵でコミュニケーションをさせていただいたことで、それぞれが在り続けるところで、生まれる新しい世界の素晴らしさを強く感じました。



10月9日夕方17:00。

こうして絵付けが完了した舞台（ステージ）で、オープニングとして音楽ライブとライブペイントのアートパフォーマンス。

音楽はアルバム「GANDHARVA」を会場 BGM として使用させてもらっているプライナスさん。プライナス川名洋行さんの別ユニット ainoomps さんに演奏をお願いしました。ainoomps さんの透明な歌声からはじまり、プライナスさんの心の震えるパフォーマンス。



「あのライブパフォーマンスが窯入れの瞬間で、火が入り焼き上がったのだ」というのはパフォーマンスをご覧になった INAX ライブミュージアムスタッフさんの言葉。



ご来場いただいた皆様の熱量を受けて、30 分程の時間で舞台は美しく焼きあがりました。

あの瞬間を常滑で出会った皆さん、ずっと応援して下さった皆さん、通りかかった皆さん、たくさんの方と共有できたことを幸せに思います。

そして出来上がった舞台（ステージ）。あとは、今、ご来場いただいた皆様が、舞台（ステージ）の主演として楽しんでいただく番です。ぜひトイレに座って展示空間と一体化してみてください。大きく流れる世界の中心はみなさん一人一人自身で、それが何より最高の作品であると私たちは信じてやみません。

2011 年 10 月 12 日 ニシムラマホ タキナオ